

広島好きが
勝手に作る
フリーペーパー

すえ 広がり

Vol.1

高橋コヤマ



きんさい、
広島！

／みなさんこんにちは！／

新しくなった広島駅へ

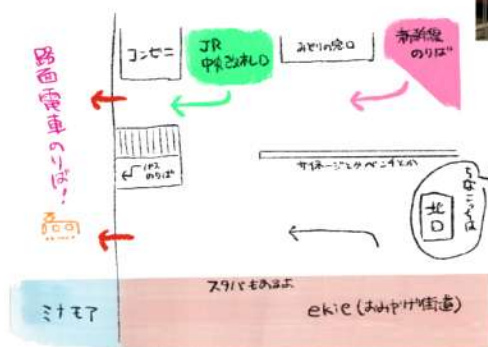
シネコンも入った商業施設「ミナモア」に2階から商業施設・JRに直通が可能となった路面電車。最新のへ広島陸の玄関口です！

ようこそ！



▲ウッドデッキ広場から駅前通りを見渡す。広島は空が広いんです！ 気持ちいい～！

路面電車は2階に乗り入れ。ガラス窓からの採光で開放感のある乗り場に ▶



さらにさらに、JRの改札口や新幹線の改札口と同じ階になったことで、県外などから広島駅にやってくる人がスグに広電に乗って市内観光へ繰り出すのが前よりシームレスになりました。これまでの新駅舎の経験値を全て込めた、広電渾身の駅なのです！

鉄道利便性の向上！

これまでの広電はもちろん路面電車ゆえに乗り場は1階。停留所の面積も多くの観光客を迎えるにはなかなか混雑していました。

しかし、2階に乗り入れ各行き先の停留所の乗り場も定位置に一本化！ 以前よりわかりやすく・広く生まれ変わりました（人の多さは相変わらずですが…！）。

今年の3月24日、かねてより工事中だった駅ビルの工事があらかた完了！ 新広島駅ビル、そして商業施設「ミナモア」が誕生しました。雑貨店やシネコン、飲食店はもちろん今までどおりのおみやげ街道まで勢ぞろい！

追って8月3日には広島陸の路面電車・広電が新広島駅の2階に乗り入れが完了しました。広島駅をハブとした鉄道利便性がグッと向上！ 来年には広電初の循環路線も登場予定です。

しかし広島駅の進化はまだまだ終わらない！ さらに2029年には乗り入れる広電の両脇にペDESTリアンデッキが利用開始予定。駅周辺施設の回遊性が今よりもっと快適に、楽しくなる予定です！

市中心部も楽しいんです！

となると、じゃあ広島駅に施設やお店が集中しまって「八丁堀」や「本通り」界隈は……？ と思う方もいらっしゃるかもしれませんが、心配ご無用！
確かに店舗が移動したりもしましたが、市中心部はまだまだ楽しめるんですよ！
原爆ドームやおりづるタワーだけじゃない、市中心部の魅力を一部お届け！

街なか水族館？

今年の10月31日、「紙屋町西」電停近くの商業施設に「都市型水族館」が「広島もとまち水族館」がOPEN！
商業施設内に設置され、没入体験や鑑賞に重きを置いたいわゆる観光特化型の水族館で、「水といのちのミュージアム」がテーマ。なんとあのオオサンショウウオも展示されているんですよ！ 広島グレートパークやおりづるタワー、原爆ドームからも徒歩圏内なのでお時間のある方は一度「広島海のいのち」に癒されてみてはいかがでしょうか？

ありそうでなかった映画体験

もうひとつオススメしたいのが映画館「八丁座」！ 「八丁堀」または「立町」電停を下車した福屋八丁堀店の最上階にある映画館です。



特徴的なのはその内装。なんと和テイストの映画館なんです！
上映される映画も最新作はもちろんこだわりのラインナップで、ミニシアター好きにもたまらないかも。ぜひチェックを！

平和を発信するスタジアム

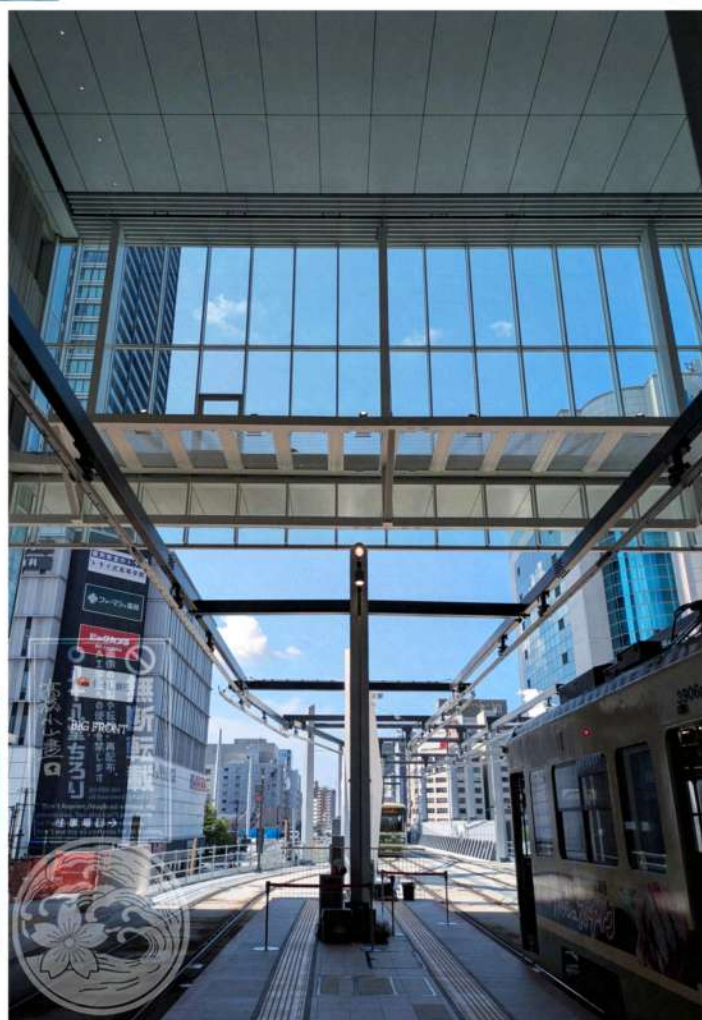
相生橋から北を見ると、キラキラ光る銀色の大きな屋根が見えます。広島電鉄「原爆ドーム前」からグレートパークを抜けてまっすぐ進むと辿り着くのがここ、「エディオンピースウイング広島」。広島のサッカーチーム・サンフレッチェ広島の新スタジアムです！ 『キャプテン翼』による「サッカー平和宣言」の壁画も見逃せません。

催し物はサッカーだけではなく、ライブビューイングからマラソン大会など催し物も隣接した広場と一緒に開催されることも。すぐそばには広島城もあって、陸橋で自由に行き来ができます。

作者はやっぱり、相生橋から見たこの風景が好きです！ 相生橋から原爆ドームを見るときはぜひ北も見てみてください！



路面電車乗り場、本当にカッコエーのです



いかがでしたでしょうか？ 広島は商業の舞台を駅を中心にしつつありますが、繁華街である市内中心部だって進化し続けているのです。今回は詳しく紹介ができませんでしたが、広島城もあたらしい三の丸広場ができたり、天守の改築案も出てきていて今後の動きが見逃せません！

広電に揺られていくつも川を渡っていると、「あゝ広島だな」となんだか安心します。どこまでもかかっている橋の多さも見どころのひとつ。広島市中心部はとにかく川が多いので、それぞれの表情まで楽しめるのも魅力です。
駅から中心部、それから宮島方面まで！ ぜひ到着してから心ゆくままに広島を堪能していただけると嬉しいです！

広島へのアクセス

東京から	羽田から1.5h+リムジンバス50分
東京から	東京駅から約4時間
大阪から	新大阪駅から約1時間30分
大阪から	バス 昼約4時間 夜約8時間
福岡から	博多駅から約1時間
福岡から	バス 昼約6時間 夜約7時間

広島には観光地がめいっぱい！ 何度行っても発見があります。ぶらぶらとカメラ片手に散策してみましょう！

ぶらぶら広島フォトさんぽ



やっぱり広島といえば尾道。どうでもいいですが、「広島観光特集！」の4割は尾道でできていて5割は宮島でできていますよね。山間部が血流流してる気がします。

とはいえ、私も沿岸部そだちなので何とも言えませんが、尾道はなんといっても海が映えますよね！ 呉といい勝負だと思っていま

すが個人的には尾道が好き。尾道という都市の成立は海沿いに町がせり出していたことからドンドン細長く海に伸びているところが見どころ。地図を見て歩きながら町割りを見

つけるのも楽しいですよ。よく観光客が「川みたい！」と言っておりますが、海です。また、アーケードのついた古き良き商店街

があるのもポイント。このアーケードについてはこのごろ老朽化による存廃が取り沙汰されていたりもするので、あらゆるアーケード（一応ながーい商店街の組合はそれぞれ違います）は撮影しておくといいかも。駅前



福山!? 福山ってどこ!? と思う広島県外の人もいることでしょう。福山は広島県東端で岡山県と隣接しています。広島市からあまりに離れているため、もはや福山県らしいの経済圏を持っているんです。じつは観光名所にあふれているところなんです！ ちなみに尾道は福山駅からJRがおすす

め。まず福山城です！ 最近復元が完了しました。より文献および戦前に近い姿になりました。戦争で焼けちゃいましたからね。北側の黒い鉄板張りのカッコイイお城です。新幹線から見るというのもポイント高い。

また、戦後復興にバラを用いたことから「ばら」を観光資源にしており、南部にあるばら公園は春秋とオススメ！ 毎年5月には「バラ祭り」が開催されています。駅を出てすぐに花壇があったりと力を入れているのでぜひ御覧になってください。

今回の行き先 尾道市

- ・ぶらり尾道水道
- ・商店街アーケード
- ・駅前のパン屋さん

福山市

- ・カッコイイ福山城
- ・ばら公園
- ・山の字がかわいい

竹原市

- ・大久野島ぶらり
- ・忠海港へ

広島市

- ・冬到来「胡子大祭」
- ・相生橋は絶好の撮影スポット！





竹原市といえば町並み保存地区もオススメしたいところですが、今回は大久野島をご案内。
大久野島は「うさぎ島」と呼ばれるように野生のウサギが多く暮らしています。人慣れしていて穴だまりに身を寄せ合っている姿はさながら毛玉のごとし。
ウサギに与えるエサは持ち込み禁止ですが、忠海港のフェリー待合小屋ではちゃんと公式のエサが販売されているのでそちらを持ち込みましょう！ お触りは厳禁なので、ウサギが無心にエサを食べている姿や自然に存在している姿を、地面に這いつくばりながら撮るのが一番楽しいと思います！
もちろんそれだけでなく、かつては「地図から消された島」として旧日本軍の毒ガス製造・貯蔵施設としての負の歴史と遺構も抱えています。
多くは自然に還りつつありますがそれでも驚くほど遺構があるので、ギャップに少し面食らうこともあるかもしれません。本当に突然出てきますからね、遺構が。ウサギ！遺構！海！ウサギ！遺構！海！が大久野島の特徴の一つではないでしょうか？
しかしどこから見ても海がきれいなんですよ！ 島は45分くらいで一周できますし、レンタサイクルもあるのでご利用ください！



広島市はやっぱ外せねえ！ので、ねじこみます。
県北をどこか入れたほうがいいのでは？という気持ちと、ここで広島市を載せないフリーパーがあるか？という気持ちとで後者が勝ちました。県北はまだまだ取材したいので、そのうちまたこういう機会があったらいいですね。
広島駅を起点とした特集は前段で組んでおきますので、被爆遺構をご案内。
平和記念資料館がハードル高い……。と感じる人もいるでしょうから、東館の少し奥側にある「被爆遺構展示館」をおすすめします。入場無料で、映像やパネル展示とともに、あの日閃光と火炎で消えた街の遺構を詳細に見ることができます。何気ない側溝、配管……地下から掘り出されたあらゆる生活の痕跡がただあるだけでも、感じるものがきつとあるはず。
そのまま川沿いを進めば「レストハウス」があります。ここも被爆建造物でありそうだった遺構もありますが、観光案内としても機能しておりお土産も色々あって楽しいですよ！
ゆるやかなところからでもいいので、ヘビロシマを眺めてみてくださいね。



▲平和記念資料館近くにある「被爆遺構展示館」資料館の工事中に発掘された〈被爆当時〉の街並みが遺されています



「川のある」風景

まだ広電が駅前大橋から2階に乗り入れるようになる前、まだ「猿猴橋」という電停があった頃の話。

私は数年前まで京都に住んでいた。もちろん広島生まれ山口経由広島育ちだが、いろんな広島の人と変わらない。進学を機に広島を出て関西に行った。一度実家のトラブルもあって広島に帰ってきたが結局うまく行かず、また関西に出て住み始めたのが京都だった。だいたい7年ほど暮らした。

京都にも川はいくつもある。だけれど、どんな橋を歩いててもバスに乗って渡っても、小さい頃から私が「川」に対して抱いてきた気持ちと何かが違うなと思っていた。目が覚めて窓を開けて、目の前に海があったらカンペキなのにだなんて、京都（中心部）のいいところを台無しにするようなことを考えることもあった。姪ができたのを大きなきっかけに、私は広島へと帰ってきた。

路面電車の乗り場がまだ地面にあつて、猿猴橋駅を抜けてすぐ。荒神橋を渡る時、「ああ私、広島に帰ってきたのだ」という感情が強く浮かんでいた。

京都でも広島でも同じ「川」なのに、路面電車でゴトゴト揺られながら渡る最初の荒神橋からの風景——そこには下流に向けていくつも橋があり——は私の郷里への感情を揺さぶる。

これは広島を出てからずっと変わらない感情で、だからこそ京都に暮らしていた時に不思議に感じたのだ。同じ川なのになつて。

やはり「故郷」というのは離れがたい感覚なのかもしれない。

どれほど人生が紆余曲折を過程しようとも、どこかで刻みつけられた風景と感情は密接に結びつき覆ることがない。私の人生においての「川」は荒神橋を渡ることから始まり、太田川放水路を越え、八幡川を渡ることと終わる。

線路ギリギリまで上がる水位、干潟に集まる鳥たち。海の潮の満ち干きで表情を変える「川のある」ことこそが、私にとっての原風景なのだろう。



ちなみに広島を中心市街地には現在7つの川がかり、それにとまって数え切れないほどの橋がかかっている。もちろん駅前大橋だって猿猴川を渡っているのだけれど……。

それでも、あの狭小な広島駅を出て猿猴橋駅からぐんと曲がった先の荒神橋を渡る時の感慨は忘れることができない。別に橋がなくなったりしているわけではなく、電車が通らなくなっただけだ。それでも、数十年前と私のへ玄関口だったのは猿猴川と荒神橋だった。郷愁に駆られるとはこういうことを言うのだろうか？

だけれども、そんなさみしい話ばかりでもない。

旧猿猴橋電停は前述の通り“狭小”な道にある。そこをほぼ歩行者道路にしようという都市計画が動き始めている。

電車が通らなくなるのは確かにさみしいけれど、周遊性：もとい賑わいが猿猴橋から去らないかもしれないというのは嬉しい気持ちになる。

たまには遠回りしてみよう。私の大好きな一番最初の川。いつてらつしやいとおかえりなさいを言ってくれる川と橋に、また会いに行こう。

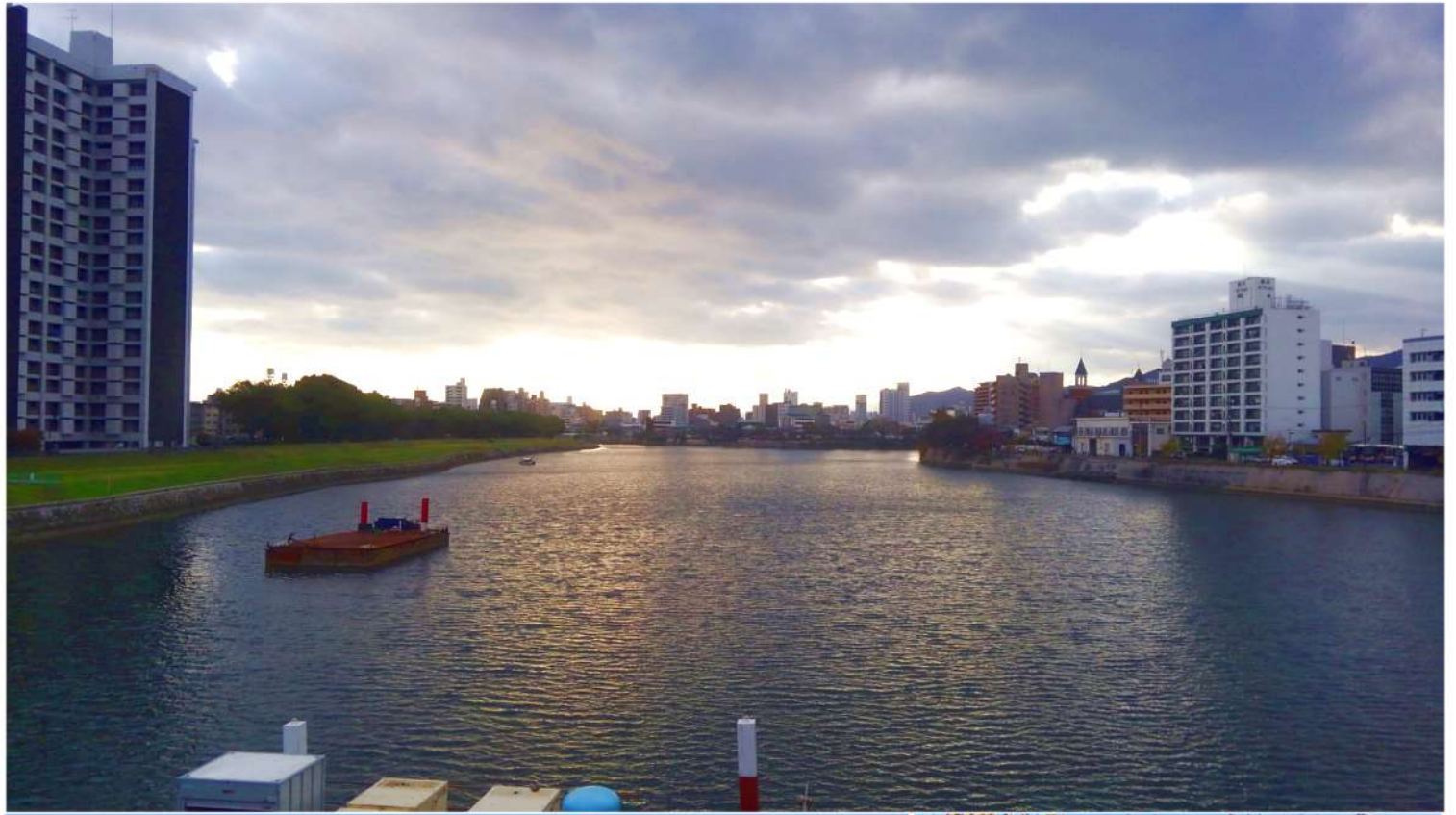
だから、正直駅前大橋ルートができることに対しては複雑な気持ちがあった。

駅前の大通りをぶち抜いてそのまま稲荷町駅に抜けるということは、すなわち猿猴橋駅の廃止を意味していた。それは環状線ができて変わることはない。環状線も、猿猴橋駅を通ることはないからだ。

荒神橋を電車で渡ることがないというのには、まだ少し慣れない。

こうなる……らしい





告 広



わたのそこ 海底の 花なごり

「歩み続けてきた物語がある——」

広島県広島市。彼の都市はいかにして誕生し、戦時に立ち、そしてあの日を迎えたのか……。ほか呉市や竹原市、福山市の擬人化などを主役としながら、広島にとっての黎明と繁栄、戦争と戦後、そして現在に至るまでのそれぞれの物語（ナラティブ）が紡がれ、描かれる。

百年の歴史をひとりひとりが歩み続けてきた、土地擬人化大河。

準備号 BOOTHにて無料配信中

好評につき再販売！

1'26
／
31迄

「花緑青の窓辺より」

「花咲きほこる港より」

BOOTHにて受注販売※期間限定

擬人化された広島県の各自治体のキャラクターたちを、歴史上の出来事に重ねつつえがいたマンガ短編集。
歴史と擬人化をえがく、高橋コヤマはじまりの作品群。
電子版無料配信中。

「花緑青」

これは「さよなら」をするための物語。

BOOTHにて受注販売中

編集後記

お楽しみいただけただけかな？
というところで、イベント合わせでペーパーを作るついでにこんなフリーペーパーというかコラム？ みたいなものを作ってみました。めちゃくちゃ楽しかったです。
去年くらいに描いたマンガが下のやつなんですけど、なんだか取り返しのつかない感じになってきており全国シェア6割の広島の特産品がピンチを迎えています。なんちゅうこっちゃ！ 好転すればいいけど厳しいそう……。オイスター王国の明日はどっちだ！
元気がなくて取材に出られなかったのですが、またお散歩の成果をこいうやつにできた面白いかも！ と思ったりしました。予定は未定。
(25年11月29日)

わしらはもっと地球温暖化について考えにやいけんのじゃ思う



あまりの哀しみに
広大で茫々とした
こと言いはる

Information

高橋 コヤマ (Takahashi Koyama)

広島の土地（自治体）擬人化を描きに描いている広島出身・在住のアマチュアクリエイターです。
普段はMisskey.ioのほか、Blueskyやてがろぐ、webサイトでささやかにコツコツと活動しています。



Misskey.io @3000o88/Bluesky

// /作品タグ #擬人化_燦然/webサイト <https://o88.jimdofree.com/>



これらの情報があらかたまとまっている
リトリン←